問 ゲートキーパー育成を

答 今後も取り組んでいく

河田美穂 議員（公明党）

❶身近な人の自殺を防ぐための「ゲートキーパー」の育成を進めるため、市民や市職員に研修してはどうか。

市職員を対象にした
ゲートキーパー講習会

保健福祉部長　12月に障害福祉関係の事業所や社会福祉協議会、民生児童委員などを対象に予定。2月に市民向けに自殺予防についての研修会も予定。職員研修は、12月に予定しており、今後も取り組んでいく。

❷うつ病など早期発見を推進するためウェブサイト「こころの体温計」の導入をしてはどうか。

保健福祉部長　早期対処へのきっかけとして有効であることは認識しているが、本市としては国や府のサイトを紹介し、心の健康についての啓発を進めていく。

❸飼い犬や猫の避妊・去勢手術費用の補助をしてはどうか。

経済環境部長　基本的には飼い主の責任と負担で行っていただきたい。

❹野良猫の繁殖防止のため、不妊手術費用の助成をしてはどうか。

経済環境部長　猫の適正な飼い方や無責任な餌やりをしないことなどの指導、啓発が重要であり補助等は考えていない。

❺地方版「子ども子育て会議」を設置すべき。

保健福祉部長　これまでも子育て関係者も入った子育て支援に関する協議会を設けている。これを移行して対応する方向で検討したい。

❻ロケ地に最適な風景（日頃の暮らしの中の風景や町並み等）を市民から募集して制作会社等へ売り込み、京田辺市をアピールしてはどうか。

経済環境部長　京都府が平成24年度、府内へのロケ地誘致の促進を図るため各地域のロケ地が一覧できる「ロケスポット京都」をデータベース化したウェブサイトが12月下旬からオープンする。市民へこの事業を周知し、ロケ地発掘のための情報提供の呼びかけを検討していきたい。

問 高校前交差点の安全対策を

答 歩道新設に向け交渉中

増富理津子 議員（共産党）

❶田辺高校前交差点はたいへん危険である。安全対策を。

建設部長　歩行者の安全性向上を図るため、交差点の改良（歩道新設）に向け、土地所有者と交渉を進めている。

❷近鉄新田辺駅東口に、障がい者が安心して乗り降りできる駐停車場の設置を。

建設部長　バリアフリー基本構想に沿って、まず歩行者等が安全に通行できるよう整備を検討しており、障がい者駐停車場の設置は、検討課題と認識している。

❸介護保険料の減免制度の周知と充実を。

保健福祉部長　パンフやガイドブック、ホームページ、出前講座も活用し、制度の周知に努める。減免規定項目は研究する。

❹介護保険の福祉用具購入費を償還払いから受領委任払いに。

保健福祉部長　支払い時の利用者負担軽減を図るため検討する。

❺介護認定の改善と認定期間の短縮を。

保健福祉部長　認定指導員の的確な調査を指導。早期認定に努める。

❻高齢者福祉サービスの生活支援ヘルパー派遣事業、紙おむつサービス事業の拡充を。

保健福祉部長　ヘルパー事業ではサービス内容の拡大をしている。必要に応じ検討していく。

❼高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の対象年齢や助成額の拡充を。

保健福祉部長　事業の周知に努めながら、状況を見る。

❽就学援助制度に、平成24年度から生徒会費、PTA会費の支給が実施された。クラブ活動費の実施は。支給時期の改善を。

教育部長　3学期当初に支給する。支給時期は早めるよう努力する。

❾教育的見地からも、メガネやコンタクトを就学援助の支給項目に。

教育部長　項目拡充は考えていない。

安全対策が望まれる
田辺高校前交差点

問 山手東から大住中方面 遊歩道新設を

答 検討するが防犯等課題も

青木綱次郎 議員（共産党）

❶若狭湾周辺原発群の事故に備え全市避難を想定した計画の具体化など市民参加も取り入れて見直しを。

遊歩道の整備が要望されている
松井ケ丘幼稚園前道路

危機管理監　防災計画は不断の見直しをしていく。国の見直しを注視し、市民の安全確保のための対応を国・府へ要望する。市民の声が反映できるよう取り組む。

❷東日本大震災の教訓を踏まえ、マスタープランの見直しが必要。また災害被害を受けやすい地理的条件の土地の都市開発は可能な限り避けるべきということも提起されているが、市の見解は。

建設部長　マスタープランは避難経路や避難所の確保など想定している。今の時点で大きな課題と認識しているが、都市計画や市のビジョンに反映させるのは相当困難。

市長　本市でどうやっていくか、そういう話はこれから出てくるかもしれない。参考にさせてもらうが、現時点では不可能に近いと思う。

❸中学校給食の検討委員会は公開し、市民公募委員などを積極的に取り入れるべき。

教育長　委員会で主要な方法の一つとして委託弁当方式が議論されている。そこでの議論を踏まえ実施を検討する。

教育部長　直接の関係者が忌憚なく議論するために委員会は非公開にしている。今後、請願者の意見も聞くようにしたい。

❹中小自営業支援のため利子補給制度継続を。

経済環境部長　来年度は1%相当分は継続するが、緊急対策で実施した上乗せ分は府の動向や商工会の景気雇用状況調査結果を踏まえ検討する。

❺松井ケ丘幼稚園から北部住民センター・大住中方面へ遊歩道整備を。

建設部長　地元要望もあり検討を進めてきた。費用対効果や防犯面での課題がある。旧集落からJR松井山手駅まで歩けるなどアプローチの方法について検討している。

問 京田辺子ども憲章制定を

答 将来的な検討課題

水野恭子 議員（共産党）

❶京田辺「子ども憲章」の制定を。いじめや児童虐待、不登校、家庭や学校崩壊など子どもを取り巻く環境は深刻である。1994年に「子どもの権利条約」が批准され、各地で「子ども憲章」が制定されてきている。本市の子どもたちがいきいきと生活し、育っていくことを目的に「子ども権利条約」を基にした「子ども憲章」を作るべきと考えるが、市の考えは。

高浜市の子ども憲章の冊子

保健福祉部長　本市では「次世代育成支援行動計画」の中で「子どもの権利条約」に基づいて、子どもが健やかに生まれ育つための施策を行っている。子ども憲章は、将来的な検討課題である。

❷学校給食こそ食教育。群馬県高崎市では、幼稚園・小・中学校すべて自校直営の給食が実施され、「食教育」を一番大事にされている。「食」を通して、人と人のつながりの豊かさ、命と生きることの原点、そして人間性・人間形成や教育の原点とすべき。栄養士の身分を正規職員として保障し、自校直営で行うべき。また、中学校給食の現場では、残りかすもなく、落ち着いた雰囲気の給食であった。自校直営の中学校給食を行うべきと考えるが、市の考えは。

教育部長　地元食材の利用に努めたい。中学校給食においては、平成24年度末をメドに検討委員会として結論を出す。

❸聴覚障がい者にとっては、情報やコミュニケーションの保障は大切である。ア以前行っていた補聴器用電池購入の補助をすべき。イ両耳が70デシベル以上でなければ身体障害者手帳が交付されない。高額な費用の負担であり、特に難聴児に対する補助をすべき。

保健福祉部長　ア電池購入の助成は、現在、考えていない。イ補聴器の市独自の助成については、引き続き検討したい。